

## 第2回 村上市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 開催日時：平成29年11月13日（月） 午前9時30分から午前10時25分

2. 開催場所：村上市生涯学習推進センター 2階 大・中会議室

3. 出席者：（※敬称略）

【出席委員】 古田委員、小田(修)委員（藤観光タクシー（株）川内壽雄代理出席）、松平委員、高橋(治)委員、中村委員(五十嵐課長補佐代理出席)、須貝委員、片野委員、会田委員、大嶋委員、高橋(博)委員、石田委員、嵐委員、川崎委員、高橋(智)委員(波多野葵代理出席)、小松委員、桑原委員、山形委員、佐野委員、大滝委員、小田(正)委員（大滝課長補佐代理出席）、木村委員（伊藤課長補佐代理出席）

【欠席委員】 石塚委員、渡邊委員、河面委員、鈴木(克)委員、鈴木(涉)委員、山田委員、板垣委員

【委員以外】 株式会社瀬波タクシー、株式会社はまなす観光タクシー、新潟交通観光バス株式会社村上営業所（オブザーバー）

【事務局】 川崎、細野、小野寺（村上市）

4. 傍聴者：0人

### 5. 会議次第

1 開会

2 挨拶（副会長）

3 議事

〔報告事項〕

(1) PR活動・アンケート調査等について

(2) 事業実施状況について

〔協議事項〕

議題1 平成30年度 事業変更計画(案)について

議題2 平成29年度 地域公共交通確保維持改善事業の評価について

4 その他

5 閉会（副会長）

### 6. 会議資料

【配付資料】 ◇議事次第 ◇出席者名簿 ◇配席図 ◇運行利用状況等

#### 【議事資料】

資料1. PR活動・アンケート調査等について

資料2. 事業実施状況について

議題1. 平成30年度事業変更計画(案)について

議題2. 平成29年度事業評価について

## 7. 会議経過

### 議事次第

#### 1 開 会

○川崎事務局長：皆様、おはようございます。定刻前ではございますが、本日皆様既にお集まりでございますので、始めさせていただきたいと思っております。本日は、お忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。ただいまより平成29年度第2回村上市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。私、自治振興課長の川崎と申します。どうぞよろしく願いいたします。

開会に先立ちまして、ご報告がございます。本日会長が臨時議会に出席のため、欠席となりましたので、ご報告させていただきます。なお、本協議会の規約第9条によりまして、副会長に会長の職務を代理していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、お手元にお配りした資料の確認をさせていただきます。最初に、議事次第、出席者名簿、配席図、運行利用状況、バスのデザイン図とバス停留所のイメージ図、高速のりあいタクシーのチラシでございます。なお、会議資料につきましては、事前に議員の皆様へ送付しておりますので、そちらをごらん願います。資料の不足ございませんでしょうか。よろしかったでしょうか。

次に、本日の出席状況でございますが、協議会規約第11条第2項により本協議会は委員の過半数が出席しなければ開催できないことになっておりますが、協議会委員29名のうち半数以上の出席をいただいておりますので、本協議会が成立しておりますことをご報告いたします。なお、本日の出席者につきましては、時間の都合上、お手元に配付しております出席者名簿によりまして、ご紹介にかえさせていただきますので、あらかじめご了承願います。また、本日は公共交通事業者さんにもオブザーバーとしてご出席いただいております。

それでは、次第に従いまして進行させていただきます。初めに、佐野副会長からご挨拶をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

#### 2 挨拶（副会長）

○佐野副会長：皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、第2回村上市地域公共交通活性化協議会にご参加いただき、まことにありがとうございます。事務局からのご報告のとおり、本日の議事進行は会長にかわりまして、私が務めさせていただきますこととなりますので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、本日の会議の内容ですが、ご案内のように、平成30年度の事業変更計画（案）及び平成29年度生活交通確保維持改善計画の自己評価について審議をお願いしたいと思います。委員の皆様にはさまざまな観点からご意見いただきますようお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

#### 3 議 事

○川崎事務局長：ありがとうございました。それでは、議事に入りますが、先ほどの報告のとおり、これより副会長による議事の進行をお願いいたします。よろしく願いいたします。

〔報告事項〕

（1）PR活動・アンケート調査等について（資料1）

○佐野副会長：それでは、規約に基づき議長を務めさせていただきます。委員の皆様には議事のスムーズな進行にご協力賜りますようお願いいたします。

本日は報告事項が2件、協議事項が2件となっております。それでは、最初に報告事項の1、PR活動・アンケート調査について事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局：――資料1に基づき詳細に説明――

○佐野副会長：はい、ご説明ありがとうございました。ただいまのご説明に関して何か意見ございますでしょうか。はい。

○小松委員：新潟運輸支局の小松です。お世話になってます。着座で失礼します。参考までに教えていただきたいというのが資料1の、イヨボヤプロジェクト2017バス車内の飾りつけについてですが、たしか昨年も実施されていたかと思うのですが、やることによってどれぐらい利用あったのか、もしわかっていることがあれば教えていただきたいなど。絵を飾るということは、家族や知り合いの方に乗車してみてもらって、乗車人数の確保という部分もあるかと思しますので、もし何か資料があれば教えていただきたい点が1点となります。

2点目が高速のりあいタクシーのアンケート調査の関係なのですが、回答の結果は頂戴したのですが、やっぱり参考までにアンケート用紙自体もちょっと見せていただいたほうがわかりやすいのかなと思ったので、それをお願いしたいと思います。結果の中で、例えば1ページ目の利用目的で通院が53名と多かったわけなのですが、4カ所停まる病院の中でどこの病院が多いのか把握されていらっしゃるのか。あと2ページ目の、例えば行き時刻で村上新潟1便6時10分から6時50分、悪い、大変悪いという方が18名ほどいらっしゃいますけれども、乗降場所が幾つかあったかと思うのですが、どこの方がそういうふうに悪いというご意見があったのかなという、もう少しちょっと詳しく教えていただけたらと思います。

以上です。

○佐野副会長：事務局お願いいたします。ご説明お願いいたします。

○事務局：まず、質問の1点目のまちなか循環バスの利用者の数なのですが、後ほど話します利用状況等の資料の中にも記載されているのですが、平成27年10月から平成28年9月までの人数が1万3,440人に対しまして、昨年の28年10月からことしの29年の9月までが1万3,223人と若干減っているような数値になっておりました。

あと、質問の2点目につきまして、アンケート調査の質問事項なのですが、確かに委員おっしゃるとおりで、こちらについては追って質問の内容について返答させていただきたいと思います。

あと、乗降場所の数については、事務局で把握しておりますので、こちらについても追って返答をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○小松委員：わかりました。人数のほうとかもこの時期にどれぐらいふえているとかという把握の仕方もされていらっしゃるんですか。バス車内への飾りつけのときとか、それとも全体だけの数値ですか。

○事務局：本日、資料に載っているのは、全体の数値です。

○小松委員：子供だけの利用人数は。

○事務局：子供だけ何人乗ったかという数値はわかるのですが、今すぐ出てこないような状況になっていきますので。

○小松委員：わかりました。

○佐野副会長：施策の効果が見える、なるべく、データをとるのが非常に大変でとかいう話

だと、また話が変わりますけども、それほど手間がかからないのであれば、そういったデータも合わせてとっていただければと思います。ほかに何かございますでしょうか。

高速のりあいタクシーのアンケートでおおむね満足で時間とか、ちょっと場所がもう少しという話だと思うのですが、後でご説明あるかもしれませんが、利用の実態といいますか、そういったものも資料に後で説明していただけるのだったらいいんですけども、もし説明する予定がなければ今この利用状況について少し説明いただければと思います。

○事務局：利用状況については、後ほどの実績のところでお話のほうさせていただきます。

○佐野副会長：はい、わかりました。ほかに何かございますでしょうか。

(異議なしの声あり)

(2) 事業実施状況について(資料2)

○佐野副会長：ないようでしたら、次の報告事項の2つ目の事業実施状況についてご説明をお願いいたします。

○事務局：――資料2に基づき詳細に説明――

○佐野副会長：はい、ありがとうございました。何かご質問ございますでしょうか。すみません。高速のりあいタクシーについてお伺いしたいのですが、きょう配っていただいた3ページの上が高速のりあいタクシーの4月からの運行実態なのだと思うんですけど、運行台数に空振りを含むというのは、これどういう意味なんですか。誰も乗っていない車も含むということなんですか、が空振りなんですか。

○事務局：往復しているわけで、例えば行きは人が乗っていて、帰り誰も乗っていないということ。

○佐野副会長：それを空振りとおっしゃっているわけですね。

○事務局：はい。

○佐野副会長：イメージ的にですが、1日が3人強ということで、1日4便動いているわけだから、1かゼロということなんですか、大体、平均すると。

○事務局：便によっては乗っていない便もありますんで、そういうことになります。

○佐野副会長：はい、わかりました。

○事務局：後ほど事業の変更(案)のところの説明するんですが、アンケートの中で出発時間が非常に早いというご意見があったものですから、時間の運行見直し、また今後については乗降場所をふやしたりするというような計画も持っております。そういったことで利便性を高めようかと考えております。

○佐野副会長：はい、ありがとうございました。ほかに何かございますでしょうか。

場所によっては1割から2割減っているところもあるし、ふえているところもあるんですけど、のりあいタクシーの種別によって、何らかの理由というのがわかれば教えていただければと思うんですけど。推測でも何でも構わないんですけど。

○事務局：その要因というのはちょっとわかりかねます。人口が減になっているということも一つの要因かとは思いますが、ですけども。

○佐野副会長：減はいいんですけど、ふえているところも、結構ふえているところもありますもんね。だから、その辺もう少し何か分析していただければいいかなと思います。ほかに何かございますでしょうか。

(異議なしの声あり)

[協議事項]

議題1 平成30年度 事業変更計画（案）について

- 佐野副会長：ないようでしたら、協議事項、議題1、平成30年度事業変更計画（案）についてご説明お願いいたします。
- 事務局：――議題1に基づき詳細に説明――
- 佐野副会長：はい、ありがとうございました。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。はい、小松さんお願いします。
- 小松委員：デマンド型乗合タクシーと高速のりあいタクシーを今度本格的にやりたいというご提案なわけなんですけれども、例えば山北のりあいタクシーですけれども、先ほどのご説明を実績の中では常時利用の学生さんがいらっしゃるということでお話を伺ったわけですが、1日当たり4便運行されていて、1日当たりの利用者が1をいかないとき、毎月ちょっと1をいかない状況かと思うんですけれども、その4便のまま本格運行に移られるんですか。それとも、見直しとかをされるのかという点が1点目で、高速のりあいタクシーのほうについても、やはり実績に基づいて、便数とかの検討とかはされないのかなという点です。どうしても運行するということは経費がかかるかと思うんですけれども、利用者の中で将来にわたって持続されるものやっていくには、やっぱり経費の部分も考える必要があるのかなということでもちょっとお伺いした次第です。
- 佐野副会長：はい、よろしくお願いします。
- 事務局：1点目の山北地区のりあいタクシーの運行についてですが、学生さんの利用が常時利用しているような状況でして、それで長期の休みになると学校が休みなものですから、利用しなくなるというのがわかりましたので、次年度につきましては、長期の休み期間中の運行については見直しをかけようと考えていたところですが、
- あともう一つ、高速のりあいタクシーについての便数については、今のところ便数の部分についての見直しというのは考えておりません。ただ、これまでタクシー事業者さんのほうに全く予約が入らなかった場合についても待機料ということで委託料の中に含んでいたのですが、それを次年度から外すことにしましたので、経費とすれば多少なりとも少なくなるのではないかと考えております。
- 佐野副会長：はい、ありがとうございました。高速のりあいタクシーは、デマンドということなんですね。予約ないときは走っていないんですね。
- 事務局：そうなります。
- 小松委員：すみません。少しだけよろしいですか。
- 佐野副会長：どうぞ。
- 小松委員：山北のりあいタクシーのほうで長期の休み運行見直しということでしたけれども、学生さんが利用される便とかがっておわかりではないんですか。空便、誰も乗車されない便とか把握されているのですか。
- 事務局：はい、わかっています。
- 小松委員：そこは、今後検討はされないのですか。
- 事務局：そこもごくたまにお年寄りとかが乗る場合がありますので、次年度は見直しはする予定はございません。
- 佐野副会長：はい、ありがとうございます。
- 事務局：補足でございますけれども、この山北のりあいタクシーにつきましては、地元からのたつての要望で始めましたので、区長さん、それから地域住民の方々利用してくださるということで始めておりますので、もう少し、1年間様

子を見て、また見直しをしていきたいと考えております。

○佐野副会長：2つともかなり収支率低いんですけども、これは最初から1年実験してみたいという話で、予想どおりの結果なんですか。そもそもこれぐらいと思ってやられているんですか。

○事務局：大体予想どおりでございます。

○佐野副会長：はい、わかりました。ちょっと小松さんにお伺いしたいんですけども、本格運行でも当然変えることは可能だと思うんですけども、余りこころ1年でやめるといふわけにもいかないですよ。どんな感じなんですかね、本格運用して。

○小松委員：すみません。私も直接の担当の者じゃないので、詳しくないんですけども、いわゆる本格運行を始めると、変更は可能かと思いますが、やめるとなるとある程度の制限はあるかと思えます。

○佐野副会長：わかりました。ありがとうございます。収支率1%でも必要だから、やるという強い意志を持ってやっていただければいいのかとは思いますが、何らかの利便性改善によって収支率も改善するかもしれませんので、その辺もあわせてやっていただければと思います。

何かございますでしょうか。それでは、停留所の追加というのと、あと2つのデマンド型タクシーの本格運用ということで事務局からご提案ありましたが、お認めいただけてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○佐野副会長：はい。積極的なお認めの声は余りないんですが、否定的な意見もないようですので、お認めいただいたということですが、留意して改善に取り組んでいただければと思います。

#### 議題2 平成29年度 地域公共交通確保維持改善事業の評価について

○佐野副会長：それでは、議題2、平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の評価について事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局：――議題2に基づき詳細に説明――

○佐野副会長：ご説明ありがとうございます。この議題2に関しまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。はい。

○高橋委員(代理)：北陸信越運輸局の課長の高橋の代理で参りました波多野と申します。よろしく申し上げます。

こちらについての意見なんですけれども、こちらの村上～馬下～寒川線の系統があるようですけれども、こちらが唯一目標を達成していないということで評価Bになっているんですけれども、こちらについて意見がございます。目標を下回った理由というのが沿線地区の人口減少の影響というふうになっておるんですけれども、沿線地区の人口減少というのはどの路線にも共通する事象じゃないのかなというところがございまして、事業の分析の観点からいうと不十分ではないかなという意見でして、ここが不明瞭になっていますので、6番の事業の今後の改善点というのが抽象的かなという印象を受けました。この5番の要因とのつながりも弱いので、意見なんですけれども、再度目標未達成の理由について分析していただいて、6番の事業の今後の改善点というのをもうちょっと具体的にさせていただいて、あと5番との関連性というところもちょっと見直すということをしていただきたいと思います。

○佐野副会長：はい、ありがとうございます。

○事務局：今ほどご指摘あった部分、また戻ってから見直しをいたしまして、ご報告いたします。

○高橋委員（代理）：わかりました。

○佐野副会長：はい、よろしくお願いいたします。ほかに何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

○小松委員：すみません。今の寒川線のところで③の前の事業評価結果の反映状況のところ、昨年の改善点には沿線住民へのPRというのがあったと思うんですけども、そこを行われたのかという点と、あとちょっと関連してくるんですけど、事業の今後の改善点で循環バス以外の記載内容ですか、学生への周知に加え、沿線住民の方へのPRを強化していく、引き続きJRダイヤとの接続に配慮し、利便性の向上に努めるとかですかね、寒川線、村上市まちなか循環バス、せなみ巡回バス、北中線について、昨年と同じ記載内容なんですけれども、波多野もちょっとお話しさせてもらっていますけれども、B評価の寒川線、同じ改善点をして改善されるのかなという疑問があります。あと例えば北中線ですと、今年明確に位置づけた目標30人で実績が37.2人ですけれども、昨年の実績ですと、目標達成しているから、Aなんですけれども、昨年の実績が39.2人でして、それより下がっておられたりとかするので、やはり同じ改善内容でいいのかなという疑問があります。あと、1つこれと直接関係ないんですけど、お願いなんですけど、昨年佐野副会長のほうからもお話あったかと思うんですけど、村上市さんはいろんな事業をやっておられるかと思うんですけども、補助金対象のものばかりではなくて、そちらのほうのやっぱり見直し、次につなげるという意味で同じような評価も必要じゃないのかなという意見です。  
以上です。

○佐野副会長：はい、ありがとうございます。対応できますでしょうか。

○事務局：ありがとうございます。確かに村上寒川線、村上北中線については、学生さんを主にいろいろPR活動など、利用促進を図っているところなので、そのほかの住民に対してもそのような形でPR活動ができるか、この辺についても今後見直しをかけたいと考えております。

○佐野副会長：多分路線によって特徴があって、路線に学生が多い、あともしくはJRと競合しているから、きょう村上駅通ってきましたけど、もう本当高校生ばかり、北からも南からもいっぱい来られていて、そういうところだと電車のほうに行っちゃうのかなという気もしますし、それぞれ多分特性があると思うので、それを踏まえて少しでも改善になるような施策を打っていただければと思います。

ほかに何かございますでしょうか。ないようでしたら、この改善事業の事業評価をまた改善していただくことになっていきますけども、そうしていただければお認めいただくということでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○佐野副会長：はい。それでは、ここでご意見に従って、なるべくできる範囲で改善していただくということを条件にお認めいただいたという判断をいたしました。

#### 4 その他

○佐野副会長：それでは、次第の4、その他についてですが、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局：その他についてですが、2点ほど報告がございます。

まず、1点目につきましては、バスのデザインですが、平成31年度4月からまちなか循環バスの車両の入れかえを予定しております。こちらについては、庁舎内で話をした結果、本日お配りした水色のサケリンをメインキャラクター

一として載せたデザインに決まりました。若干配置とかは今後変更となる予定ではございますけれども、こういったデザインのバスが平成31年度からまちなか循環バスとして走る予定となっております。

2点目につきましては、昨年度の第3回目の本協議会でご指摘があったのですが、屋根つきのバスの待合所の設置について考えてはどうだというご意見がございましたので、来年の4月から市役所西側の高速のりあいバス及びまちなか循環バスのバス停に隣接する形でこのイメージ図のようなバス待合所を設置する予定となっております。利用状況を見ながら今後ふやすかどうかについても検討していきたいと考えております。

以上でその他の説明は終わります。

○佐野副会長：はい、ご説明ありがとうございました。ただいまのご説明に関して何かご質問等ございますでしょうか。

すみません。細かい話で恐縮なんですけども、このバス停非常に周囲と溶け込んでいいのかなと思うんですけども、これは歩道に設置するんですか。例えばここだと駐車場に設置するんですか。

○事務局：ちょっと絵はわかりづらいんですが、駐車場の中に設置となります。

○佐野副会長：それだったらいいとは思いますが、はい、ありがとうございます。

何かほかに全体を通してございますでしょうか。はい。

○松平委員：すみません。羽越河川国道事務所の松平と申しますけれども、高速のりあいタクシーなんですけれども、これは前日までに予約ということになっているんですけど、当日乗りたいという場合はタクシーが動いていれば乗ることは可能ということですか。それとも、認めないということですか。

○事務局：今のところお断りしています。前日までの予約です。

○松平委員：仮に便が動いていたとしてもということですか。

○事務局：はい。動いていたとしてもお断りしています。

○松平委員：はい、わかりました。

○佐野副会長：ありがとうございます。その辺の理由は何でなんですか。

○事務局：受け付けしていただいていますタクシー会社さんが決まっております、運行していただいているタクシー会社さんがイコールでなく、会社が違うものですから、そのやりとりで多少なりとも時間がかかるということもございますので、前日までということをお願いしております。

○佐野副会長：はい、わかりました。何かほかにもございますでしょうか。

(異議なしの声あり)

○佐野副会長：ないようでしたら、これをもちまして本日の議事につきましては全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

○川崎事務局長：委員の皆様、ご審議ありがとうございました。それでは、最後になりますが、閉会の挨拶を副会長よりお願いしたいと思います。

## 5 閉会(副会長)

○佐野副会長：それでは、閉会の挨拶を簡単にさせていただきたいと思います。きょう配られたこのデータとか非常に細かいデータそろっていますので、これが必ずしもいろんなところに十分生かされているとも限らないような気もしますので、その辺事務局のほうで大変だと思いますが、いろんな、減っている理由とか、ふえている理由とかも少し検討していただければいいかと思います。それでは、皆さん、お忙しい中お越しいただきありがとうございました。

○川崎事務局長：ありがとうございます。以上をもちまして平成29年度の第2回村上市地域



公共交通活性化協議会、終了とさせていただきます。なお次回ですが、2月を予定しておりますので、引き続きよろしく願いいたします。  
本日は大変ありがとうございました。

(午前10:25終了)